

これまでの経過報告及び本日の協議事項について

1. 令和4年度 第1回 新庄インターチェンジ付近道の駅検討会 (R4. 10. 24) の協議結果の振り返り

協議 (1)

整備に係る計画策定の流れ及び基本構想の構成について

基本構想の策定、整備計画の策定、実施設計及び施設工事の実施と段階的に進めること、及び基本構想の構成については事務局案のとおりとすることについて合意を得る。

協議 (2)

最上地域の課題及び道の駅に期待する効果並びに道の駅に求める機能について

- 基本コンセプトにつながる次の3つの視点を共有する。
 - ①「8市町村における連携と誘導に関する視点」
 - ②「運営者となる民間事業者も参画し、整備を進めることに関する視点」
 - ③「整備の進む自動車専用道路等の機能向上に関する視点」

- 各団体の意見を踏まえて、今後作業部会で機能や規模、候補地等の協議を進めること、それに当たっては、交通量調査等の交通の現況を把握すること、民間の意見を聞く機会をつくることについて合意を得る。

2. 作業部会への検討指示について

○民間の意見を聞くこと。

- 第4回作業部会 (R5. 1. 18) 新庄もがみのランドマーク検討協議会との意見交換会を実施
- 第5回作業部会 (R5. 2. 20) ランドマーク検討協議会の構想に対し、意見や懸念事項をまとめ、他の候補地も含めて比較検証することとした。

○交通量を把握し、分析を進めること。

- 第4回作業部会 (R5. 1. 18) H27 全国道路・街路交通情勢調査等の統計を用いて、現状の交通量を共有。

※最新の全国道路・街路交通情勢調査結果は、近日中に公表見込。

3. 第 2 回検討会の内容

<事例紹介 鶴岡市 道の駅あつみ移転整備事業における整備運営方式について>

第 1 回検討会において、民間事業者との連携による整備運営方式を前提とすることに多くの意見がありました。

県内の先進事例である鶴岡市の事業の流れを参考に、検討に必要な期間等を共有します。

<協議（1） 候補地について>

5 つの候補地を選定しました。現況からそれぞれの候補地の特徴を共有の上、今後の検討においては、この候補地を基本とし検討を進めてよいかということについてご決定をお願いします。

<協議（2） 令和 5 年度の検討スケジュールについて>

令和 5 年度末に基本構想の策定を完了することを予定する検討スケジュールについて協議します。

<協議（3） 調査業務委託事業費の負担割合について>

令和 5 年度に実施したいと考えている調査業務委託に関し、8 市町村がそれぞれ負担することとその負担割合を協議します。

基本構想（令和 5 年度で策定予定）の構成項目	検討状況
1. インターチェンジ付近道の駅整備の経過と目的	
2. 最上地域の現況	
3. 「道の駅」とは （「道の駅」に期待する役割と最上地域の課題）	第 1 回検討会（10.24）
4. 基本コンセプトと想定される導入機能、施設規模	
5. 「道の駅」候補地について	本日 第 2 回検討会
6. 整備運営方式	
7. 事業スキーム	